

# 「暮らしの助け合いはじめて講座 （「隣隣サポーター」養成講座）」参加者募集

ちょっとした困りごとを抱えている地域の高齢者へ、日常生活の手助けや交流の場を提供する、住民主体サービスの担い手「隣隣サポーター」の養成講座を開催します。

隣隣サポーターの活動は、支援を受ける高齢者の生活を助けるだけでなく、サポーター自身が地域で活躍することで、生きがいや社会参加となり、自身の介護予防にもつながります。活動してみたい方、興味がある方など、皆様のご参加をお待ちしております。市内では、6つの住民主体サービス提供団体があり、隣隣サポーターとして活動しています。この講座を受講し、先輩サポーターと一緒に活動してみませんか？



## ●隣隣サポーターとは？

地域で困りごとを抱える高齢者のために、できることや得意なことを生かして活動する住民ボランティアです。買い物やごみ出し、話し相手などの「生活支援」、地域の「居場所づくり」、通院や通いの場などへの「移動支援」などの活動を行っており、50代以上のサポーターが多く活躍しています。

## ●なぜ今、助け合いが見直されているの？

人口減少と少子高齢化により、支援を必要とする高齢者が増える一方で、支える人材が減少していき、将来的に社会保障の医療・介護サービスや制度だけでは支えきれなくなる可能性があります。公共のサービスだけでなく、「健康づくりや生きがいづくり、地域のつながりを大切にしていくこと」など自分たちでできることが見直されています。

## 暮らしの助け合いはじめて講座（「隣隣サポーター」養成講座）

	開催日時	内容	会場・定員
基礎編①	7月24日(月) 午後1時～3時50分	・地域包括ケアシステムについて ・ボランティアの基礎 ・予防救急	市役所1階107多目的ホール 定員20人程度
基礎編②	8月1日(火) 午後1時～3時45分	・高齢者の心身の特徴 ・認知症の基礎知識と対応	市役所1階107多目的ホール 定員20人程度
応用編① (生活支援・居場所づくり活動向け)	8月8日(火) 午後1時～5時	・安全管理(感染・転倒予防) ・訪問時の接遇マナー ・信頼関係を築くコミュニケーション	市役所1階107多目的ホール 定員20人程度

※移動支援活動向けの講座「応用編②」は10月頃に予定しています。

●持ち物 筆記用具、飲み物

●申込期限 7月18日(火)まで電話でお申し込みください

問・申田村市社会福祉協議会 地域福祉課 生活支援コーディネーター ☎68-3434

## 今月のごみ量 (3月分)

- 1日1人あたりのごみの量：1,039g ●田村市のごみの量の目標：704g
- 目標達成まであと：335g 減！
- ※2月のごみの量と比べて、173g 増



## 地域おこし協力隊奮闘記

▼プロフィール  
埼玉県川口市出身。高校卒業後、マンション等の建設現場のタイ尔工として10年従事。その後、大型免許を取得し、大型トラックに乗り重機運搬専門の運送業に4年従事。建設現場、重機運搬の経験と知識を生かし、トラックと重機を専門に扱った買取会社に転職。10年間在籍し、責任者を務めていたが、子どもが生まれたことをきっかけに移住を決定。趣味は年間20泊以上行くキャンプ、酒、バイクやアメリカンバイク好き。トラックも好きで幼稚園の頃から映画「トラック野郎」が大好きだった。家族は妻と1歳6カ月になる息子。



ツヨシのニッパダシ

皆さん初めまして。橋本剛と申します。4月から起業型地域おこし協力隊に着任しました。私は生まれも育ちも埼玉県川口市ですが、父親がいわき市出身です。生まれた時には祖父祖母共に千葉県に引っ越していたので、福島県に田舎があった訳ではないのですが、父親が生まれた福島県には勝手に親近感があります。

趣味のキャンプやバイクのツーリングで行く自然豊かな場所が大好きで、いつかは移住したいとぼんやりと考えていました。しかし日々の忙しさを理由に、いつのまにか「移住は夢」となっていました。そんな中、子どもが生まれたことで「家族との時間を大切にしたい」「自然豊かな場所ので伸び伸びと子育てしたい」「自然と触れ合って成長してほしい」と思うようになり、真剣に移住を考えるようになりました。

田村市に移住を決めたのは、自然豊かで私が始めたい事業に向いている事、数少ない起業型地域おこし協力隊を募集していた事です。田村市は以前から移住先としてチェックしていた町おこしに非常に精力的、なイメージがありました。親近感のある福島県、自然豊かな田舎、そして起業型地域おこし協力隊とあって、ここしかないと思いました。

移住して1カ月余りですが、想像していた以上に住みやすいです。渋滞が大嫌いな私は、快適に走れる道と山々や田園風景、澄んだ空気に心を癒されています。



さて、私が起業型地域おこし協力隊として何を起業したいかという点、田村市の大自然を生かしたキャンプ場を作りたいと思っています。キャンプ場を作り、周遊観光につなげることで、地域活性化にも貢献したいと考えています。またテレワークの普及で、都心から地方への人の流出が増加すると予想されますので、今後、田村市への移住促進のためにも情報発信していきたいと思っています。

「自然を生かす」とはいえ、キャンプ場を作ることには少なからず自然破壊にもつながります。地域の方とのつながりを大切に、密に相談をさせていただき、事業を進めていきたいと思っています。土地探しもこれから、まだまだ長い道のりですが、皆さんどうぞよろしくお願ひします。

# 有料広告募集中

問い合わせ…総務部 総務課 (☎0247-81-2117) へ